

景気動向調査

「(山形・秋田)県内企業の景気動向調査」(概要)

① 調査の目的

山形・秋田県内に本社を置く法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しについて調査を行い、景気の動向を把握することを目的とする。

② 調査の方法

すべての質問事項についてDI (Diffusion Index) 値を求める。たとえば、各社の業況を示す「自社の業況DI値」の算出方法は「自社の業況DI値」= (「良い」と回答した企業の割合) - (「悪い」と回答した企業の割合)

③ 調査期間

平成31年2月1日(金)～14日(木)

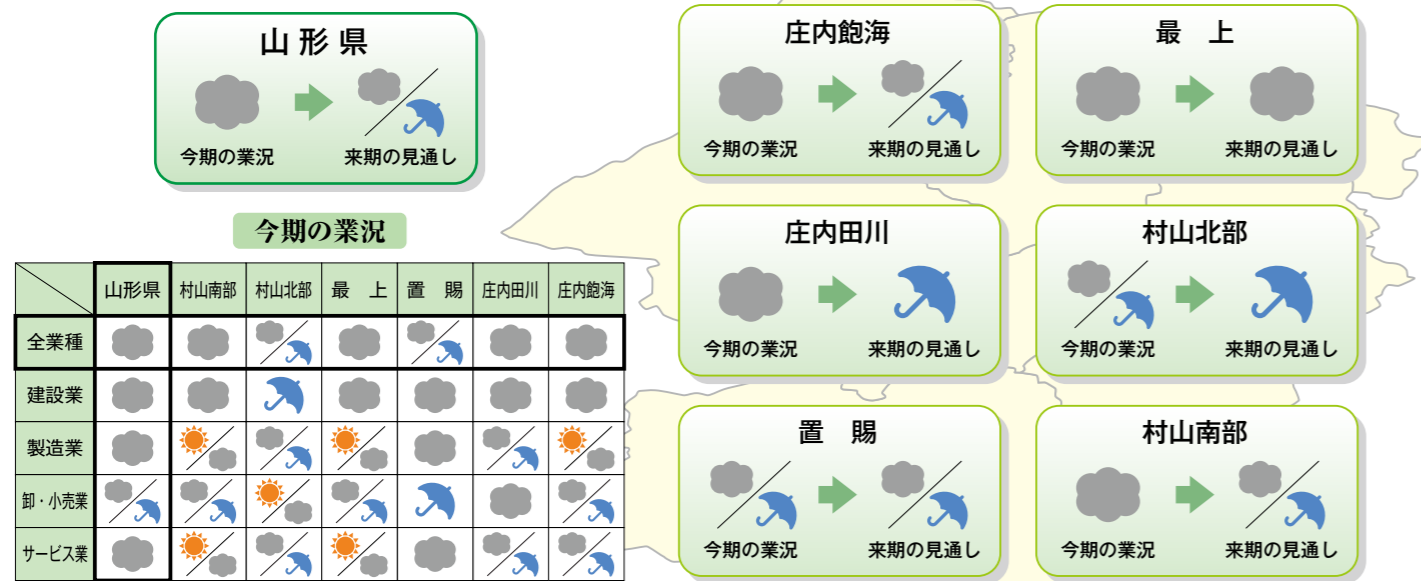
④ サンプル概要

アンケート対象企業 山形673社、秋田522社
有効回答数 山形409社、秋田367社
回答率 山形60.8%、秋田70.3%

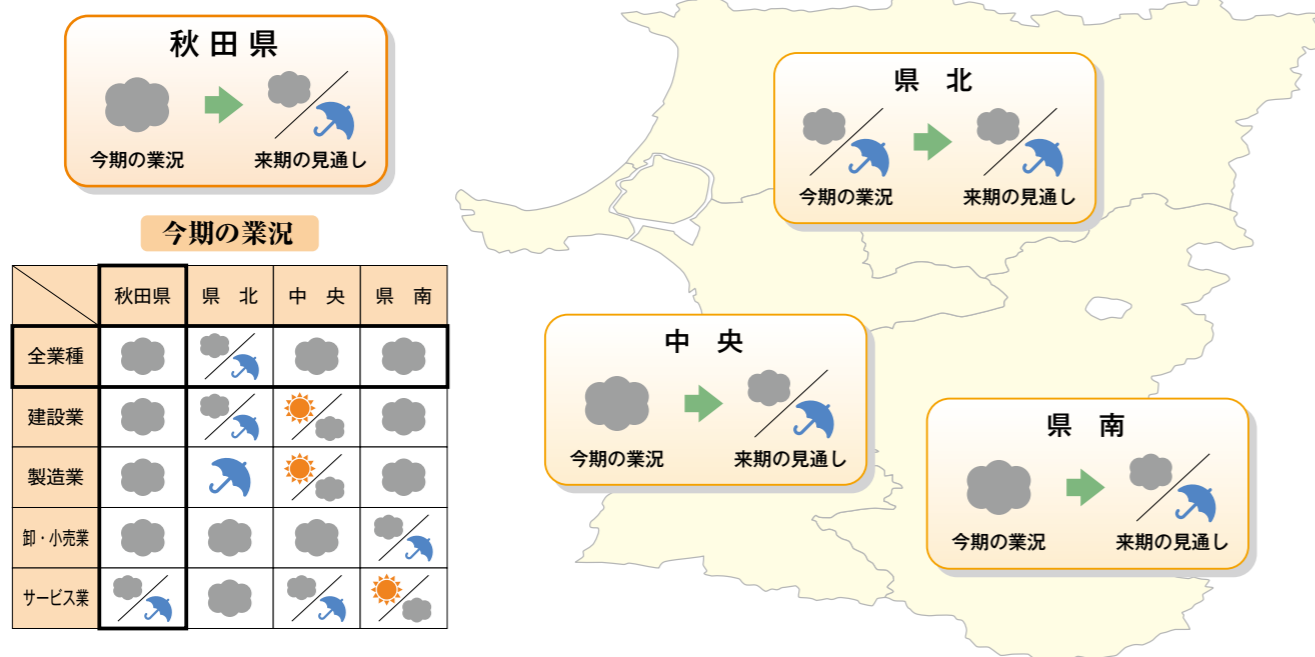
特に好調 DI \geq 30	好調 30>DI \geq 10	まあまあ 10>DI \geq ▲10	不振 ▲10>DI \geq ▲30	きわめて不振 ▲30>DI

景気の天気図

第58回 山形県内企業の景気動向調査

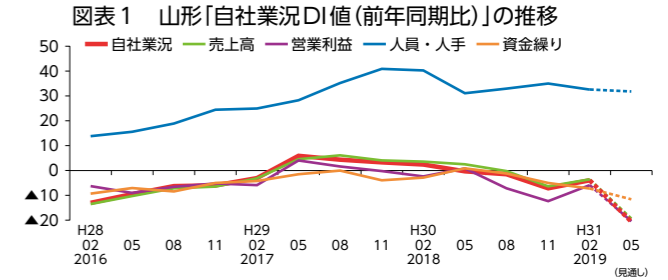


第31回 秋田県内企業の景気動向調査

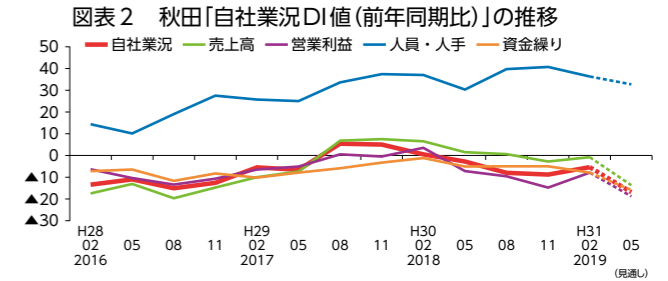


■ 自社業況の動向

山形県の業況は、「自社の業況DI値 (前年同期比)」が▲4.0 (前回調査比3.2ポイント上昇) と小幅ながら7期ぶりに改善した。「各種DI値 (前年同期比)」をみると、「売上高」「営業利益」が改善したものの、「資金繰り」が悪化した。「人員・人手」は3期ぶりにプラス幅が縮小した。

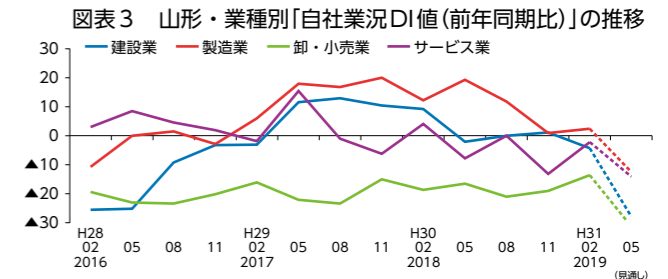


秋田県の業況は、「自社の業況DI値 (前年同期比)」が▲5.4 (前回調査比3.4ポイント上昇) と6期ぶりの改善となった。「各種DI値 (前年同期比)」では、「売上高」と「営業利益」は改善となった一方、「資金繰り」は悪化となった。また、「人員・人手」はプラス幅が縮小したものの、人手不足の状況が続いている。

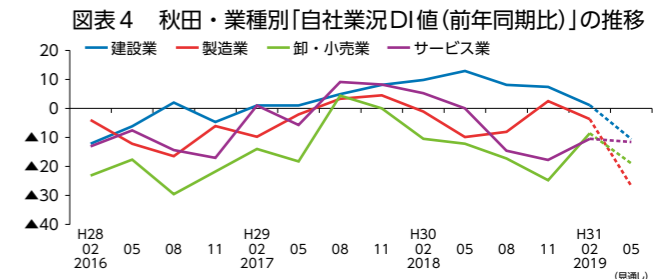


■ 業種別の動向

山形県の業況 (前年同期比) を業種別にみると、建設業で悪化したものの、製造業、卸・小売業、サービス業で改善となった。先行き見通しは、すべての業種で大幅に悪化の見込みとなっている。

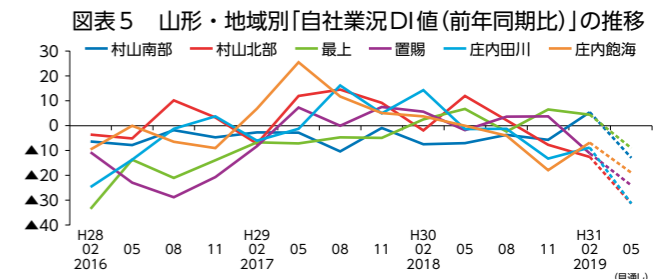


秋田県の業況 (前年同期比) を業種別にみると、卸・小売業とサービス業がともに6期ぶりの改善となった一方、建設業は3期連続、製造業は3期ぶりの悪化となった。先行き見通しは、すべての業種で悪化が見込まれており、特に製造業が厳しい見通しを示している。



■ 地域別の動向

山形県の業況 (前年同期比) を地域別にみると村山北部、最上、置賜で悪化したものの、村山南部、庄内田川、庄内飽海で改善となった。村山南部ではDI値がプラスに転じた一方、置賜ではマイナスに転じた。先行きは、すべての地域で悪化が見込まれている。



秋田県の業況 (前年同期比) を地域別にみると、県北が2期連続で改善、中央が6期ぶりに改善、県南が2期ぶりの改善と、すべての地域で改善となった。先行き見通しは、3地域すべてで悪化の見通しとなっている。

